

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
榊田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

世界中が熱狂し、夏季オリンピック大会よりも注目され、国の威信を懸けて戦うワールドカップ・サッカーが6月11日の地元南アフリカ対メキシコ戦を皮切りに、約1カ月間熱い戦いが繰り広げられる。わが日本はE組で6月14日のカメルーン戦が初戦である。「頑張れ 日本! 日本! チャ・チャ・チャ!」。本号が発刊される頃は、優勝が決まっている頃か、熱戦の真っ直中であるか? 素晴らしい試合を期待したい。しかし、世界ランキングからみても、日本は厳しい戦いになることは間違いなさそうである。一次予選突破はかなり難しいと見るのが妥当であろう。しかし、2002年の日韓共同開催、そして前回2006年のドイツ開催の時がそうであったように、今回も国民が一つとなって応援する姿が見られるはずである。政治・経済、そして医療までが大きな曲がり角、変革期を迎えている現在、スポーツの祭典は国民1人1人に活力、満足感、清々しさ……などを与えてくれる。

では、スポーツを支える医学について、ここで少し考えてみたい。

まず、「運動神経抜群」とは、一体どういうことか、「駆け足が早い」のは神経機能が優れているのか、筋肉が抜群なのか、……? 医学的に何が違うのか? 運動機能は本当に遺伝するのか? ……等々、疑問がいっぱい残る。ワールドカップ・サッカーを観戦する今、その原点を考えて見てはどうか。今まで整形外科は「骨」「関節」「神経」の基礎研究には積極的に取り組んできたが、「筋肉」についてはあまり興味を示さず、「スポーツ科学」にも深く入らず今日に至っている。骨も重要だが、本当は筋肉が運動器にとって一番重要な組織かもしれない。高齢化が進んでいるわが国で、今、骨粗鬆症や関節・椎間板の変性とともに筋肉量の減少＝サルコペニアがより重要視され始めている。高齢者では、加齢とともに骨量減少に加え、筋肉量減少が生じ、それも使わないと骨以上に早いスピードで減少する。そして、その回復、リハビリテーションは容易ではない。骨量を増加させる薬剤の開発はめざましく、その有効性は臨床的にも証明されているが、筋肉に対しては運動療法以外にないのか。使用禁止されている筋肉増強剤は除いて、より安全な薬物の開発やサルコペニアを抑制する予防・治療法の開発が望まれる。今後は整形外科が中心となって、「骨」「関節」「神経」とともに、「筋肉」も中心的な研究テーマとして積極的に取り組んでいく必要があらう。

さて、本号では運動器疾患の中でも現在注目されている「運動器不安定症」や「静脈血栓塞栓症」「骨生体材料」「骨粗鬆症性椎体骨折」などの「調査報告」「臨床研究」、そして興味ある「症例報告」など、それぞれ示唆に富んだ論文が多数掲載されている。ワールドカップ・サッカー観戦の合間に、ぜひご一読ください。

(戸山芳昭)

臨床整形外科 (第45巻第7号)

2010年7月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520円(本体2,400円+税5%)

[2010年ぎめ予約購読料29,400円、
電子ジャーナル閲覧オプション付
38,300円(配送料弊社負担)]

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・JCOPY <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。